



「新都庁外郭治水局」を視察する和泉なおみ都議（前列右）

中川の治水対策をしつかり 和泉なおみ都議が文書質問

台風21号(昨年10月)で
「避難準備」が発令

昨年10月の台風21号は長瀬が続き、埼玉県吉川市にある中川水位の監視所で30センチ水位4メートルを越えるということが起きました。

右岸の地域に「避難準備および高齢者等避難開始」が発令されました。これは地域防災行政無線で放送されたので、区民に避難が走りました。

なぜ避難準備が

「発令」されたのか

事態を重く見た和泉なおみ都議は、「18年前につくられた「中川・鶴瀬川流域整備計画」では、4時間あたり1センチまでの降雨だったえる計画であったはずだが、今回の降雨量は、それより低い4時間あたり1.8センチであったにも関わらず避難準備が発令された。なぜそうだったのか」と文書質問を行いました。

これに対し都は「前線の降雨と台風21号の降雨が重なったことから、中川の中流域から上流域にかけて降水量が多く、鶴瀬川流域整備所では3センチ、岩槻調整池で27.0センチの異常雨量を記録。これにより吉川水位観測所において避難勧告等の発令の目安となる危険浸水水位まで上昇したものです」と答えました。

「中川流域整備計画」と改定すべき

和泉都議はさらに「そうであれば都は、国や関係機関に「中川・鶴瀬川流域整備計画」の改定をもとめるべきだと強く感じます」と述べました。

都は「国土交通省(国土川河川事務所

が、流域整備計画の改定にむけて都・県や関係市町村と協議・調整中です」と答えました。

花の咲く街

和泉なおみ

水元公園・堀切公園は、花見場がまっさかりです。

いまの季節、花をめぐる機会が増えました。

年齢を重ねるにつれ花をみる心持も変化し、季節を伝え、けなげに生きる姿を「愛しい」と思うようになりました。

桜の花びらが、舞いながら道を埋める姿も、青い空の下で遠く立つ真夏の花姿も、葛飾の側と切り離せない風景です。

玄関先のわずかなスペースで大切に花を育てている様子や花を見ながら道で語り合う人々の様子をみるのも美しい。

私が愛する葛飾は、花が咲く街空が広い街、そして人々が優しくくらす街。

この街で生きている幸せをかみしめる季節です。

日本共産党都議会議員・和泉なおみの
選挙活動

7月11日(水)午後2時より

於・和泉なおみ事務所

毎月第二水曜日、東国法律事務所の会議室・第二会議室をいただきます。電話・年金・選挙相談会を開催いたします。

事前にお電話をして下さい

和泉なおみ都議の

都政報告会

勤労福祉会館(多目的室)

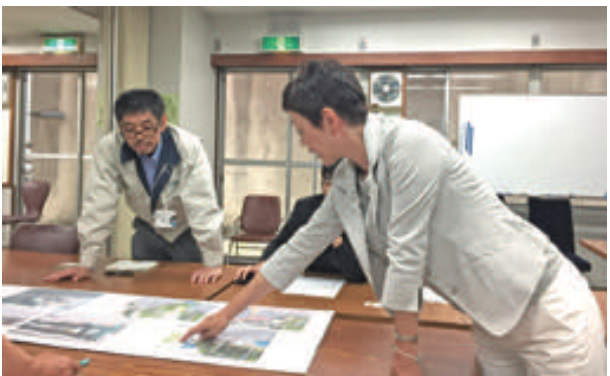
7月13日(金)午後6時30分



日本共産党都議会議員
和泉なおみ NO.36
2018.6
さわやかレポート
発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

朝の通勤バスのラッシュ解消を 第6建設事務所と交渉

和泉なおみ都議は、5月29日、地域住民および中江秀夫区議といっしょに東京都第6建設事務所を訪れ、通勤時の飯塚橋から大谷田陸橋までの渋滞解消のため、車道レーンの改善を申し入れました。



担当者に現場写真を見せて説明をする和泉なおみ都議

通勤バスが、西水元から亀有駅北口に行くとき、飯塚橋を渡って大谷田陸橋の手前で、中川公園沿いを



大谷田陸橋交差点から飯塚橋方面を見る

左折できる道路を通行するので、直進車と同じレーンにあるため、直進車の渋滞に巻き込まれ、その左折レーンが活用できません。

反対側の二重線車道は、通行車両も少なく、この車線分を活用すれば、亀有方面に行く左折専用レーンにすることが可能です。

対応した担当の課長は、「朝の混雑は認識している。交通管理者である警察の意見もあり、今後検討する」旨の発言をしました。

子どもと青少年の 医療費無料化を

日本共産党都議団は、6月12日からはじまる第2回定例都議会、子どもと青少年の医療費無料化の条例案2本を提案します。

一つは多摩地域と島しょの15歳までの医療費を23区と同様に無料化する条例案、もう一つは全都で18歳まで医療費を無料化する条例案です。
今年度から一食460円に値上げされた入院時食事療養費も補助対象にします。

和泉都議は6月5日記者会見を開いた日本共産党都議団を代表して、

条例提案の説明を行います。厚生委員会での質疑は22日(火)に行われます。



記者会見をする都議団と和泉なおみ都議 (中央)

新小岩公園までの 『歩行者専用道路』 いよいよ実現へ

西新小岩三・五丁目の皆さんが要望してきた「新小岩公園までの歩行者専用道路」実現の見通しが出てきました。

中川沿いの公有地を使ったスパー堤防事業の基本設計が出され具体化されてきたからです。

西新小岩三・五丁目地域から新小岩公園に行くには、下水道局のポンプ場や蔵前橋通りがあるため、かなり、う回をしなければなりません。

この解決のため10年以上にわたって地元住民有志で「つくる会」を立ち上げ運動してきたものです。(本紙19号に詳細)

5月30日、和泉なおみ事務所と「つくる会」の皆さんと一緒に、江東治水事務所に行き、早期実現の要望をしました。

応対にでた担当課長によると、「道路管理者である警察の了解がまだ得られていないので、詳細設計に入れないが、現時点では歩行者専用道路を整備し、法律にもとづき車椅子でも可能な勾配にする。

また、歩行者専用道路には、要望のある街路灯やベンチについて検討していきたい」旨の説明がありました。

この場には、樋口まこと和泉なおみ秘書、三小田准一区議会議員も参加しました。

